

決議案第 1 号

ワンヘルスの推進に関する決議について

上記の議案を宗像市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により、次のとおり提出する。

令和 3 年 12 月 17 日

宗像市議会議長 神谷 建一 様

提出者	宗像市議会議員	森田 卓也
賛成者	宗像市議会議員	末吉 孝
賛成者	宗像市議会議員	伊達 正信
賛成者	宗像市議会議員	北崎 正則
賛成者	宗像市議会議員	岡本 陽子

提案理由

福岡県では、平成 28 年に開催された世界獣医師会と世界医師会によるワンヘルス国際会議において、ワンヘルスの理念から実践に移行させる礎となる福岡宣言が採択され、本年 1 月には、福岡県ワンヘルス推進基本条例が公布、施行された。

この条例では、人獣共通感染症対策や人と動物の共生社会づくりなど、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための課題について取組の基本方針を定め、これを具体化するための行動計画を県が定めることなどが明記されている。

よって、本市議会は、本市に対し、福岡県で制定された福岡県ワンヘルス推進基本条例の具現化を図るための措置を講じるよう強く求めるもの。

ワンヘルスの推進に関する決議（案）

新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界にまん延し、パンデミックとなって人類を恐怖と混乱に陥れ、今なお、世界経済と人々の生活に甚大な影響を与え続けている。

この感染症は、人の感染症の中で約6割を占める人獣共通感染症の一つであり、人獣共通感染症は、農耕や都市化による森林開発など、地球の生態系に影響を及ぼす行為が繰り返され、また、これが気候変動の一因となって生態系の崩壊が進み、その結果、人と野生動物の生存領域が近接してきたことから、動物の感染症に対する抵抗力を保有しない人にも伝播するようになったものとされている。

このような状況から、「人と動物の健康及び環境の健全性はひとつのもの」として捉え、それぞれが直面しているさまざまな課題に対して、医師や獣医師、研究者だけでなく、行政や企業、市民も一緒になって解決していこうという「ワンヘルス」の理念が、世界中で広がりを見せている。

特に、福岡県では、平成28年に開催された「世界獣医師会と世界医師会によるワンヘルス国際会議」において、ワンヘルスの理念から実践に移行させる礎となる「福岡宣言」が採択された。

さらに、本年1月には、「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が公布、施行され、この条例では、「人獣共通感染症対策」や「人と動物の共生社会づくり」など、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題について取組の基本方針を定め、これを具体化するための行動計画を県が定めることなどが明記されている。

ここ宗像は、古代から連綿と、世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群を取り巻く美しい海をはじめとする豊かな自然を守り続けてきた地である。

平成26年からは、海の再生に取り組みながら、近年の急激な海の変化への提言や情報を国内外に発信する「宗像国際環境会議」を開催し、今年10月には、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言するなど、生物多様性の保全、地球温暖化対策をはじめとする環境保護に積極的に取り組んでいる。これらはまさに、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守る「ワンヘルス」の取組であり、本市としても、この取組を一層充実させることにより、福岡県のワンヘルスの推進に協力していくべきである。

よって、本市議会は本市に対し、福岡県で制定された「福岡県ワンヘルス推進基本条例」の具現化を図るために、下記の事項に措置を講じるよう強く求める。

記

- 1 ワンヘルス実践（人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取組）の基本方針を具体化する福岡県行動計画に連携協力すること。
- 2 市民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行うこと。

以上、決議する。

令和3年12月17日
宗 像 市 議 会